

名車だって  
走ってナンボ!!



**Z** 2、CB、マッハにXS、  
国産車ばかりかドゥカティ  
にトライアンフ、MVアグスタま  
である。BGで毎月のように取り  
上げる内外絶版車が一同に会し、  
豪快な排気音を奏でながら目の前  
を走る。まるで博物館から抜け出  
してきたかのようなバイクを駆る  
のは名車の殿堂。タイムトンネル  
の常連ライダーたち。もちろん足  
となるのは自分の愛車、そうこれ  
こそが年一回開催される「タイム  
トンネル合同ツーリング」だ。  
毎年9月の第三月曜日に企画さ  
れるこの日帰りツーリング、今年  
は沼津漁港での美味しいランチが  
目的地。東名高速・用賀ICに近

いタイムトンネルには早朝から元  
気いっぱい排気音を轟かせて参  
加者が続々集合！ 回を追う毎に  
人数も膨らみ、同行スタッフも含  
めてついにちろ台近くの名車が連  
なる大ツーリングとなった。  
それでも要領を心得たベテラン  
バイク乗りが多く、皆さんテキパ  
キと行動してくるおかげで全行  
程滞り無くスケジュールを消化し  
たのはさすがとしか言い様がない。  
1950年代のトライアンフで  
も無理なく走れ、もしものトラブ  
ルにもトランポ同行で安心のタイ  
ムトンネル合同ツーリング。減多  
にお目にかかれない名車、しかも  
走る姿が拝めるのはこれだけです。

海鮮丼待つ沼津漁港にGO!

## 2013 Time Tunnel Touring

恒例となった秋のタイムトンネルツーリング。益々盛り  
上がって今年は40台まで膨れ上がりつつもやっぱり和  
気語々、楽しい一日を満喫。絶版車人気はまだまだ続く!

撮影●鈴木広一郎  
主催●タイムトンネル ☎03-0429-3355 <http://timt.co.jp/>



# ついに30台オーバー、次はあなたも!



ターンバイクを上る途中から霧が出はじめて大観山は雲の中。予報28度のはずが息が白くなるほどでも久々のツーリングで皆さん元気いっぱい!



⑦まるで70年代のツーリングのような隊列を後ろから見る。⑧CB750FOURにXS650、Z1-Rが一列に並ぶなんて普通ではあり得ない光景。来年はこの中にあなたも愛車とかが?



⑤タンデムでも疲れを見せず元気な奥様だからツーリングもいつも以上に楽しいようです。⑥奥様、お子さんにも旨い食事付きと言えどもタンデムライダーが増えるかも。沼津漁港の丸天、味はこの笑顔が証明。



最近グッチのAmbassadorに換えたばかりの磯目徹弥さん、やよいさん夫妻。「さすが750ccは快適だし、素直で安心」



「縁でしょうか、一目見てビビッと来て衝動買いしてしまいました。一目惚れです!」という芝田茂実さんとメグロS-7。



「Dream! 夢だった400Fで高速も初走行できて幸せです」と久政道さんは昨年9月納車で今回が一番走ったそうです。



「仕事にマッハで行くと年配の方に懐かしがられて話が弾む」とタンデムマッハを楽しむ石田貴之さんと綾奈さん夫妻。



8年目のトライトンで皆勤賞の佐藤秀樹さん。「ウィンテージも安心して走れる伴奏トランポ付きツーリングに感謝」



「今日のために用意した新しい革ジャン着て来ました。毎回参加者が増え、今回40台と聞いて驚きました」と柳沼亮さん。



ミント・コンディションのKZ1000MK-IIで参加の山田昌央さん。「完成されたスタイルに惚れた。Z1とNinjaもあります」



「キックにも慣れて、ほぼ一発で掛かれるようになりました。キックができる限り乗り続けます」と衛藤光明さん。



走って走って走る!!!

③ターンバイクのゲート前休憩スペースがあったという間に名車コレクション会場に早変わり。④エストレヤの原型となったメグロSG250のさらに前身である1960年式のメグロS-7でコーナーを攻めるのは芝田茂実さん。最高速度約70キロでも終始遅れること無く全行程を制覇。「さすがメグロ、けっこう頑丈なんです」

①小田厚~ターンバイクと上るにつれ、いつの間にか霧に包まれた幻想的世界に。今回のツーリング最高のワインディングのさすが安全運転に徹して慎重に走る。②腰痛にもめげずに参加してくれたマイケルK氏と豪快なサウンドを轟かせたMV AGUSTA750SS。「このほうが前傾姿勢で腰に負担が少ないから」……なるほど。



皆勤賞、倉田憲幸さんは長女の光ちゃんとタンデム参加。「娘も大喜びで大満足。将来絶対バイクに乗る宣言もしてくれました」

このZ1のほか、Z2、Z900とカワサキばかり3台持ちの平岩寛之さん。「息子もZ好きなんです。硬派、男カワサキZ、これです」

これまた36年ぶりのリターンライダーでK4が愛車の田中熱さん。「バンド活動から趣味をバイクに変更しました。楽しいですよ」

32年ぶりのリターンライダーだという中道文夫さん。「小学生のときからCBに憧れて、ようやく夢が叶いました。音に惚れた!」

本誌6月号「春風マッハ旅」でも登場したH2オーナーの富永誠司さん。「単車、マッハが大好きです。初参加ですが、最高でした」



「今年もRGSは調子が良く、私自身も絶好調でした。年を重ねることに相性が合ってきている様な気がします」と吉永大介さん。

Z1を修理中につきZ1-Rも買ってしまった大沼邦康さん。「角Zも欲しかったんです。ねじ伏せる感じの操作性も個性だからOK」

5月に北海道から東京に転勤してきたヤヒさんは25年目のZ750FXで参加。「もうカラダの一部。頑丈で壊れない宝物」

「買うつもりなんてなかったのに、タイムトンネルでひと目見た瞬間にコロッと、これも縁でしょうか」とXS650の荒木星自さん。

9月にZ2が納車されて初ツーリングの瀧川真樹さん。「400FXから若いときからの憧れ、ナナンZ2に乗り換えて毎日が楽しい!」